



会長 熊谷敏明
 幹事 菅原慶一
 会報 氏家良典 江川元徳
 佐藤幸一 飯塚仁哉
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2583回例会 2017. 2. 9 No.27

本日の出席率

・本日の出席率 73.8%

ニコニコボックス

- ・熊谷敏明会長 小泉洋会員のスピーチに期待します。
- ・飯塚仁哉会員 2月10日は私の78歳の誕生日です。長生きして多くの人生経験を楽しみたいです。
- ・小泉洋会員 本日は、私のスピーチです。宜しくお願い致します。
- ・布施孝之会員 本日の小泉洋会員のスピーチに期待します。
- ・村上武彦会員 本日のスピーチに期待して。
- ・佐藤幸一会員 小泉洋会員のスピーチに期待して。
- ・江川元徳会員 ロータリーの目的、第四、奉仕の理念、理解、親善、平和の推進。最近、中東のシリアで13,000人位が死刑された。そのようなことがない世界がほしい。
- ・阿部泰彦会員 小泉洋会員のスピーチに期待して。
- ・佐藤静市会員 小泉洋会員のスピーチに期待します。
- ・菅原文之会員 小泉洋スピーカーの講話を楽しみに。
- ・岩淵栄市会員 小泉洋会員の整体スピーチ、大いに期待申し上げます。
- ・伊藤幸子会員 冬がもどってきたようです。本日のスピーチ楽しみにしています。
- ・及川富男会員 本日の小泉洋会員のスピーチに期待します。
- ・佐藤充彦会員 小泉洋会員のスピーチに期待します。
- ・菅原慶一幹事以下 小泉洋会員のスピーチに期待。
 鈴木彦太会員 佐々木崇会員 佐藤敬喜会員
 菅野幸一郎会員 山田直志会員 岩淵正彦会員
 佐々木源悦会員 高橋利光会員 及川昭宏会員
 小野寺伸浩会員 富士原裕子会員 武川毅会員
 杉田広仁会員 佐藤早智子会員 千葉正宏会員
 以上、ありがとうございました。

会長要件 熊谷敏明会長

先週のスピーチは、伊藤幸子会員担当で、紙芝居を拝見いたしました。何十年ぶりの紙芝居で、とても懐かしく聴き入ってしまいました。水飴とかスルメとかを食べながら見た幼少期を思い出しました。竜宮城では、1日がこの世の百年なんですかね？。すると浦島太郎は300歳以上で計算が合わないな、などと考えてしまいました。大人になるにつれ世間の荒波にもまれ、すっかり純粋さを失った自分に気づき、恥ずかしくなったところでありました。

また、例会終了後には理事会を開催し、いろんなことを協議させていただきました。その中で今年度の地区表彰に、昨年40回の記念大会を開催した野球大会をガバナー特別賞に推薦する方向で検討することになりましたので、お知らせいたします。また、次年度35回の記念大会を迎える剣道大会につきましても、著名な先生をお招きするため、補助金申請の検討に入ったことも合わせてご報告いたします。

さて、本日2月9日は、2と9の語呂合わせから肉の日、そして、ふくの日だそうです。食べるフグ、着る服、幸福の福、三つのふくの日です。是非、皆さんに幸福の福が訪れますようお願いとところであります。

幹事報告 菅原慶一幹事

- ・日本事務局より
2016年版（3年に1回改訂）手続要覧が届く。
- ・登米市環境市民会議より
2017登米市クリーンアップ湖沼群の開催について。
日 時 3月20日(月) 午前8時30分~午前10時頃
場 所 長沼会場（長沼フットピア駐車場集合）

各委員会報告

- ・ロータリー情報委員会（八谷郁夫委員長）
来年度RIのテーマが決定しました。

「ロータリー：変化をもたらす」
 (ROTARY: MAKING A DIFFERENCE)
 2017-2018年度RI会長は、イアンH.O.ラクズリー氏です。サンドリングムRC（オーストラリア）所属。



今週のスピーチ

「子の親である前に親の子であれ」 小泉洋会員
 今日は、身近なところで自分の人生を振り返りながら、これから皆様方に一緒に考えてもらう、その辺のお話をしていきたいと思っております。

皆様方のお手元に簡単にレジメを作ってお渡ししておりますのでご覧になっていただければと思います。

私は昭和25年生まれです。おとし前期高齢者の仲間入りをさせていただきました。若い時は、50歳とか60歳とか、そんな感じの年齢というのは、非常にお年寄りに見え、そして何よりもよぼよぼした感じを受けておりましたが、今ではまだまだ元気で、かくしゃくとしております。前期高齢者になって良いのは、いままで半分しかもらっていなかった年金が、満額もらえるということです。

母は旦那が戦死した後、末弟と婚姻し私と弟が生まれました。今では毎日2人の父に線香をあげています。

私には子供が3人おり現在は長男夫婦と同居しております。お陰様で孫も3歳になりました。長女は富谷市で自分で美容室を経営、孫も2人おります。二男は昨年10月10日に結婚し、今は沖縄在住でございます。お陰様で、ここ数年二男の方（彫刻家）も銀座三越で個展を開いており、この2月には台北の方で出品させていただきました。遠くにも頑張り続けてくれるのだな、そんな感じでございます。

私は、長男と同じ仕事上、先生と呼ばれる立場でございます。従って、長男の妻も中江保育所でお世話になっており、先生の家系の様だと他人ごとのように言っております。家内は「やっぱり私は小使いさんだね」と言っておりましたが、年が明けてから「今年は校長先生にならなければいけないね」と冗談まじりに言っております。

私が生まれた頃は、物のない時代でした。ですから弟が生まれた時には1つしかない納豆を弟に食べさせ、私はぬめりだけでご飯を食べたという経験もあります。又、小さい時は祖母が一生懸命に面倒を見てくれました。どこへ行くにも連れていってくれました。それは隣り近所でのお茶のみです。これがまた、方言が身についた理由です。全て教えていただきました。今の子供達は家の中ばかりいますから、そういった風な人との係わりがなく方言が身につかないのではないかと思います。

若柳小学校に入学した時は、ほんとうに体が小さくて400人を超える中で前から一番目でした。しかし、家業を伝え、働かなくてはならないということで、父親はその頃から農作業全てを手伝わせました。当時は、

いやだなあという印象がありましたが、今は、むしろ感謝しております。やはり働くことによって体も丈夫になりますし、鎌など農具の使い方を覚えました。全て手作業でしたので、これを教えてもらったことで今は何の苦勞もなく自分でさっと出来ます。最近では手作業でやるのが少なくなって、農具がうまく使えないということが、果たしてよいことなのかなと思っております。小さい時に身に付けたものは、体で覚えていることですから忘れるということはありません。従いまして、ほんとうにありがたい経験をさせてもらいました。そういった中でも小さいながらも腕力があり体も大きくなり、小学校入学時に一番小さかった私は、小学校を終える頃には後ろの方になりました。若柳中学校に入学し、同級生450人の中で腕相撲一番、柔道部に入りました。そして、宮城県で柔道が一番強いとされた栗原農業高校に入学しました。高校を終え、大学進学を希望するも親に泣かれ断念いたしました。そういうことがあり、もし私が子供を持つようになったら必ず大学に入ると決心いたしました。結果として、お金のかかる美大に2人も出してしまったのですが、しかも大学院まで出してしまったのですが、親とすればほんとうに大変な時代だったのだらうなと思っております。

親が残念だったらうねと思う反面、やれなかったその分を子供たちに託した私でもございますが、倫理法人会に入って「親は親、子は子、ということをよく勉強させていただきました。

子供を持つと誰でも親になりますが、順序というのがあります。やはり何歳になっても親の子でなくてはいけないと言うことであります。つまり、親がどういふふうな形で子供を育てたか、親の願いは何だったのかを考えた場合、やはり私たちは何歳になってもそこをしっかりと受けとめて、しっかりとかみくだいて、それをつないでいくということが私たちに課せられた今の問題ではないかと思っております。

例えば、親が犯罪者であってもあるいは離婚した親であっても、親は絶対ある訳です。ですから変わらないのです。その親がどういう悪いことをした人であっても親にかわりません。親がえらいからではなく、尊いたった一人の親であります。どんな形であっても親に尽くすということが、生きている我々に一番大切なことです。そして、亡くなくても、お仏様、仏壇があります。そこで手を合わせることによって、親との会話が出来ます。ですから、平成23年の暮れに父が亡くなって以来1日も欠かさず線香をあげて供養しております。そうすると自分との向き合いが出来るのです。

最近、特に若い人たちが殺人をするということがテレビなどで報道されておりますが、それは、その辺の部分がしっかりとやっていない子供たちがするのはないかと思っております。文化が進む程世の中が乱れると言っている方もいます。その辺を私たちはよく考え、行動しなければならぬと自分にも言い聞かせております。

社会がつくり出した悲劇だと考えております。人の子も我が子も、悪いところは悪い、良いところは誉めるといった縦分けの社会を私たち元氣なうちにやっていかなければならない。また、命のバトンとなれば、私たちが受けた恩を、子供や孫に言い伝えていかなければならないと考える今日この頃であります。